

新型コロナウイルス感染症 総合対策 ～新たな波に備えて～

令和2年9月1日

岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

新型コロナウイルス感染症総合対策 ～新たな波に備えて～ 構成

1 感染防止・医療福祉対策

(1) 県民、事業者の皆様へ（感染防止対策）

- ① 県民への情報提供、感染防止対策の徹底
- ② 県民相談
- ③ 事業者における感染防止対策の徹底
- ④ 感染が拡大した店舗等における感染防止対策の徹底
- ⑤ ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言
- ⑥ 在住外国人への対応
- ⑦ イベントの開催制限

(2) 医療福祉対策

- ① 検査体制の強化
- ② 自宅待機者ゼロ（十分な病床・宿泊療養施設の確保）
- ③ インフルエンザ流行期に備えた体制の整備
- ④ 医療機関等への支援
- ⑤ 高齢者・障がい者福祉施設への支援

2 経済・雇用対策

- ① 雇用対策・生活支援
- ② 経済再生
- ③ 観光対策
- ④ 資金繰り対策
- ⑤ 農業・林業対策
- ⑥ 新たな日常への対応

3 教育対策

- ① 円滑な学校運営
- ② 学校行事（秋・冬）の感染予防
- ③ 環境整備

※「【9補 〇〇〇千円】」の記載は、9月補正予算対応予定の事業
「【予備費 〇〇〇千円】」の記載は、予備費対応予定の事業

1 感染防止・医療福祉対策

(1) 県民、事業者の皆様へ（感染防止対策）

今後、予想される第3波等の感染拡大の可能性も考慮し、引き続き県民・事業者に対して感染防止対策の徹底を周知するとともに、外国人への適切な対応を通じて、感染拡大防止に努める。また、新型コロナに関するハラスメントの防止対策の徹底を図る。

① 県民への情報提供、感染防止対策の徹底

- 感染防止対策の基本の徹底
 - ・ 「人との距離確保」「マスク着用」「手洗い」。
 - ・ 3密（「密閉」「密集」「密接」）の回避。
 - ・ 毎日、体調自己チェック。体調異常の場合は外出ストップ。
 - ・ 県「感染警戒QRシステム」と厚生労働省「接触確認アプリ（COCOA）」の積極的な活用。※通知者へ優先検査を実施
- 家族内感染への注意、高リスクの場の回避
 - ・ 家族同士で感染防止対策のチェックを。特に高齢者への感染につながらないように注意。
 - ・ 閉め切った場所及び多人数での酒類を伴う飲食、会食やパーティー、カラオケなど、感染リスクの高い場や、行動については回避又は慎重な行動を。
 - ・ 「コロナ対策実行中！」ステッカー掲示店舗の利用を推奨。

② 県民相談

- 県民総合相談窓口（コールセンター）
☎ 058-272-8198
- 行動指針コールセンター
☎ 058-272-8115
- 人権相談窓口（岐阜県人権啓発センター）
☎ 058-272-8252

③ 事業者における感染防止対策の徹底

- ・ 県行動指針や業界別ガイドラインに沿った感染防止対策の徹底。
- ・ 「コロナ対策実行中！」ステッカーの掲示促進（特に飲食店と宿泊事業者）。
- ・ 県「感染警戒QRシステム」と厚生労働省「接触確認アプリ（COCOA）」の積極的な活用。
- ・ テレワーク、時差出勤の推奨。職場における健康チェックの徹底。

④ 感染が拡大した店舗等における感染防止対策の徹底（休業協力要請、店名公表、対策のアドバイス）

- ・ 不特定多数が利用する店舗等で感染が拡大したと認められる場合、その店舗には休業協力要請を行い、積極的疫学調査を実施。さらに、利用者等への感染拡大や接触者が把握できない場合は、感染症法に基づく店名公表を実施。
- ・ その後、県行動指針や業界別ガイドラインに沿った感染防止対策を要請し、確認の後、店舗を再開。

⑤ ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言

- ・ 「新型コロナは、誰でも感染する可能性があり、私たちが闘っている相手は人ではなくウイルス」「感染した方を『思いやり』、最前線で治療や社会生活維持にあたる医療従事者や関係者の方々に『感謝』」というメッセージを知事及び全市町村長名で発出し、徹底。
- ・ **感染症に関する人権侵害対策の強化** 【9補 7,980千円】
新型コロナに関する人権侵害事案から県民を守るため、相談体制を強化するとともに、ネットパトロールを実施。

⑥ 在住外国人への対応

- ・ 特に、マスク着用、多人数でのパーティー自粛、手指消毒について注意喚起を促すチラシを14言語に翻訳して市町村や国際交流団体に配布、教会等外国人の方が集まる場やコミュニティを中心に周知を徹底。
- ・ 上記チラシを岐阜地域留学生交流推進協議会を通じて大学や専門学校等の会員教育機関へ配布したほか、技能実習生監理団体等を通じて外国人雇用企業にも配布。
- ・ 多言語ホームページやSNSによる情報発信。
- ・ 加えて、「外国人県民会議」「外国人材受入企業等意見交換会」等、会議の機会を捉えて周知を依頼。
- ・ 「コロナ対策実行中！」ステッカー申し込みを多言語に翻訳し、外国人経営の店舗における感染防止対策を推進。

⑦ イベントの開催制限

- ・ イベント開催は、9月末まで人数制限等（屋内外ともに5,000人以下。加えて収容定員の半分程度等）を維持（感染状況等に応じ随時見直し）。
- ・ 全国的な人の移動を伴うイベント、参加者が1,000人を超えるイベントについては、県に事前相談。

(2) 医療福祉対策

検査体制の拡大、十分な病床・宿泊療養施設の確保、インフルエンザ流行期に備えた体制の整備等により、今後の感染拡大の可能性に備えた医療福祉対策を実施する。

① 検査体制の強化

【9補 306,671千円】

- ・ 県保健環境研究所（各務原市）に「全自動PCR検査機器」を新たに導入し、行政検査能力を、現在の300件/日から1,080件/日に（780件/日の増）。
- ・ 簡便かつ短時間で判定可能な抗原定量検査を行う医療機関（2か所）に対し、機器購入費を支援。
- ・ 地域外来・検査センターを2か所増設（現在8か所、10月までに10か所を目指す）。

→ これらにより、年度内に1,822件/日まで検査能力を拡充。

	8月末	秋頃	年度内	備考
行政検査	300件/日		1,080件/日	
医療機関内検査	328件/日	528件/日		15病院→19病院
地域外来・検査センター	174件/日	214件/日		8か所→10か所
合計	802件/日	1,042件/日	1,822件/日	

- ・ 妊婦がウイルス検査を希望する場合は検査費用を補助し、分娩前の検査を積極的に実施。

② 自宅待機者ゼロ（十分な病床・宿泊療養施設の確保）

- ・ 県内のすべての感染者が入院又は宿泊療養施設に入所できるよう、十分な病床、宿泊療養施設を確保し、「自宅療養」となる患者は発生させない。
- ・ 入院医療に支障をきたすことがないように、入院後72時間経過し、かつ症状軽快した患者、又は無症状者は、宿泊療養を原則とする。

※ なお、感染症指定に係る見直しや、県内の感染状況を考慮し、宿泊療養に関するルールは適宜検討する。

- ・ 受入れ可能病床数の確保

	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2
確保病床数	281床	397床	625床
うち重症者用	45床	49床	51床

- ・ 軽症者等のための宿泊療養施設の確保

圏域	施設名	部屋数
岐阜	HOTEL KOYO	265
西濃	オカサンホテル	52
中濃	シティーホテルセキ	62
東濃	恵那峡グランドホテル	49
飛騨	高山観光ホテル	38
合計		466

③ インフルエンザ流行期に備えた体制の整備

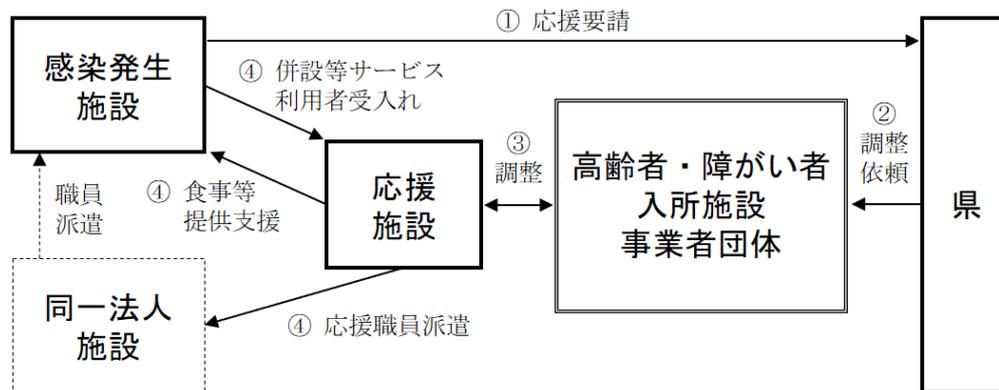
- ・ 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、定期接種対象である「65歳以上の高齢者等」にインフルエンザワクチンの優先的な接種を周知・啓発。
- ・ 発熱患者等の診療を行っている地域の身近な医療機関で季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の検査が簡易・迅速に行えるよう、県医師会と県病院協会と連携し、抗原簡易キットによる検査を大幅に拡充。

④ 医療機関等への支援

- ・ **感染症入院医療機関の設備整備費の支援**
 (1,873,176千円→2,521,555千円)【9補 648,379千円】
 入院体制を強化するため、重点医療機関等における超音波画像診断装置、血液浄化装置、CT撮影装置などの医療提供に必要な設備導入を支援。医療機関からの要望を踏まえて、さらに増額。
- ・ **歯科保健診療車購入費の支援** 【9補 31,000千円】
 岐阜県歯科医師会の歯科保健診療車について、感染予防対策機能を強化した車両への更新費用を支援
- ・ **受入医療機関協力金の増額**
 (644,000千円→1,250,000千円)【予備費 606,000千円】
 入院患者を受け入れた医療機関の経営を支援するため、受入れ患者数に応じて支給する協力金について、第2波に伴う入院患者の増加及び予想される第3波に対応するため増額。
- ・ **医療用防護具の備蓄**
 医療機関の独自備蓄に加え、サージカルマスク、N95マスク、医療用ガウン等について県の備蓄を拡大し、3カ月分を確保。

⑤ 高齢者・障がい者福祉施設への支援

- 施設間での相互支援の実施** 【9補 4,997 千円】
 事業者団体に調整を委託し、感染発生時における施設間での応援職員派遣などの相互支援を実施。
 ※8月18日に関係5団体と県との間で協定を締結済。



- 高齢者・障がい者入所施設への感染症対策専門家の派遣**
 高齢者・障がい者入所施設に専門家を派遣し、施設の感染症対策について指導するほか、施設職員に対する研修、訓練を実施。
- 高齢者施設の感染拡大防止対策支援の増額**
 (3,061,687 千円→3,677,960 千円) 【9補 616,273 千円】
 必要な衛生資材を県が一括購入して配布する経費や、簡易陰圧装置の設置経費などの支援について、ニーズに応じて増額。

高齢者施設が必要とする衛生資材を県が一括購入して配布 【配布対象】 入所系施設、通所・短期入所、訪問事業所 【購入物品】 サージカルマスク、医療用ガウン、フェイスシールド、手指消毒用エタノール
多機能型簡易居室設置や感染対策物品の購入支援 【補助対象】 入所系施設、通所・短期入所、訪問事業所
簡易陰圧装置、換気設備の設置に係る経費の補助 【補助対象】 入所系施設、短期入所 【対象設備】 簡易陰圧装置 50台→186台 (ニーズの増) 換気設備 11施設→17施設 (ニーズの増)

2 経済・雇用対策

雇用の維持と継続に向けた対策を強化するとともに、経済活動の本格的再開を見据え、産業構造の変化等に伴う支援や将来の事業展開につながる支援に取り組む。併せて、観光産業等の再起に向けた支援を実施する。

① 雇用対策・生活支援

- ・ **雇用維持・継続人材マッチング事業** 【9補 10,020 千円】
労働力の需給マッチングに向けて、経済団体等と連携した企業開拓、特設サイトの開設、社会保険労務士による労務問題相談を実施。
- ・ **雇用調整助成金の上乗せ助成の出向支援メニューの追加**
人材マッチングで出向した労働者に対する送出事業者の賃金負担に適用される雇用調整助成金について県の上乗せ助成の対象に追加。
- ・ **Web活用型岐阜県内企業情報発信事業費補助金の増額**
(15,000 千円→35,000 千円) 【9補 20,000 千円】
中小企業が採用情報を発信するためのWeb用動画作成経費やWeb合同企業説明会への参加経費の補助を増額。
- ・ **離職者雇用企業給付金の増額**
(60,000 千円→300,000 千円) 【予備費 240,000 千円】
就労の場を失った離職者を正社員として雇用した中小企業に対する給付金（60万円/人）について、申請状況を踏まえて増額。
- ・ **外国人等離職者向けの職業訓練の拡充** 【9補 2,080 千円】
新型コロナウイルス感染症の影響などで離職した方の再就職を支援するため、外国人に対応した職業訓練コースの新設や、ニーズの高いITビジネスなどのコースを拡充。
- ・ **緊急小口資金の確保**
(1,419,000 千円→2,466,000 千円) 【9補 1,047,000 千円】
新型コロナウイルス感染症の影響により収入減があった世帯を対象とした貸付金について、実績に応じて増額。

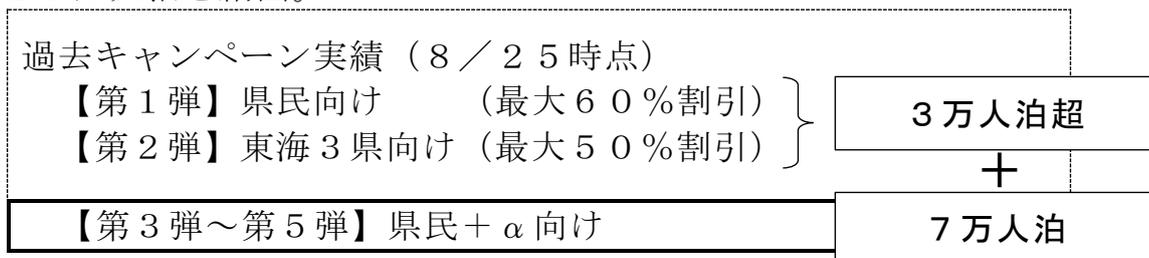
② 経済再生

- ・ **モノづくり企業新分野展開支援事業** 【9補 57,600 千円】
航空宇宙産業をはじめとする製造業が、自社の技術等を活かし他分野へ進出するための取組みを支援するため、進出希望分野の市場動向等を熟知する専門家の派遣や関連展示会への出展経費を補助。
- ・ **技術シーズ移転・実証事業費補助金の増額**
(50,000 千円→80,936 千円) 【9補 30,936 千円】
大学や研究機関等が保有する技術シーズを活用した生産工程の自動化、高度化等を支援する補助金について、申請状況を踏まえて増額。
- ・ **サプライチェーン対策等生産設備導入事業費補助金の増額**
(750,000 千円→1,360,000 千円) 【9補 610,000 千円】
サプライチェーンの見直しや新たな需要に対応するための生産設備導入を支援する補助金について、ニーズを踏まえて増額。
- ・ **企業立地促進事業補助金のサプライチェーン対策枠の創設**
企業立地促進事業補助金に投資雇用要件等を緩和したサプライチェーン対策枠を創設（最低投資額を10億円から3億円に、新規地元常用雇用者を10人から5人に引き下げ）。
- ・ **ヘルスケア産業関連設備等導入支援事業費補助金の拡充**
(180,000 千円→700,000 千円) 【9補 520,000 千円】
モノづくり企業等のヘルスケア産業製品等の生産設備、分析・評価機器等の導入を支援する補助金について、ニーズを踏まえて拡充。
- ・ **航空宇宙産業競争力維持支援事業費補助金の増額**
(18,000 千円→19,164 千円) 【9補 1,164 千円】
航空宇宙産業における公的認証の維持に必要な定期審査や更新審査の経費を支援する補助金について、申請状況を踏まえて増額。
- ・ **県産品アンテナショップ等における販売促進** 【9補 20,000 千円】
県産品の販売促進に向けて「THE GIFTS SHOP」のリアル店舗やECサイトをリニューアル（新規機能も付加）するほか、県産品応援フェアや「岐阜おみやげ川島店」と連携した割引販売を実施。
- ・ **海外バイヤーとのオンライン商談会の開催** 【9補 10,000 千円】
陶磁器、刃物や日本酒などの実用品を対象に、これまでの三位一体のトップセールスで関係を築いてきた欧米を中心とする国々の海外バイヤーとのマッチングの機会を提供するオンライン商談会を開催。

③ 観光対策

- 「新たな日常」対応宿泊施設応援事業費補助金の増額
 (500,000千円→600,000千円)【9補 100,000千円】
 コロナ社会においては、安心安全が旅行の大前提、かつ、今後の誘客の最大のセールスポイントとなるため、「新たな日常」対応宿泊施設応援事業費補助金を増額し、宿泊施設の感染防止対策を支援(申請件数243件、相談件数534件：8月31日正午時点)。
 申請状況を踏まえて増額し、今後速やかに第2次募集を開始。
 また、県内宿泊施設に「対策実行中」ステッカーを配布し、安心安全アピールを支援(全体48%。観光連盟加盟72%)。

- “安心ステイ～ほっと一息ぎふの旅”キャンペーンの拡大実施
 秋のウィークデーにおける観光需要テコ入れのため、好評だった宿泊割引キャンペーンを継続して実施(県民向けを想定)。
 「平日」「閑散期」対策を重点に、9月から年明けにかけて、第3弾から第5弾のキャンペーンを実施し、第1弾、第2弾と合わせて10万人泊を創出。



- 「家族で県内修学旅行プラン(仮称)」の実施【9補 42,700千円】
 宿泊を伴う修学旅行の見合わせの動きがある中、家族旅行を促進するべく、特に小学生のいる家族をターゲットに県内の文化資源や自然資源などを割引価格で周遊いただく「家族で県内修学旅行プラン(仮称)」を企画・販売。
- 地域における消費喚起対策等の増額
 (74,000千円→82,668千円)【9補 8,668千円】
 各地域における観光客向けの消費喚起対策に対する支援を実施中だが、想定以上に各地から事業申請があったことから増額。
- インバウンド向けデジタル対策の強化 【9補 25,000千円】
 Google Map との連動により、県内の体験・入場施設や飲食店、公共交通機関の乗り換え情報等を掲載。併せて、本県のキャンペーン広告をGoogleによる検索結果の冒頭に掲載するなど、外国人向けのデジタル対策を強化。

- ・ **豪雨災害の被災地の観光プロモーションへの支援** **【9補 30,000 千円】**
 新型コロナウイルスの第2波に加え、令和2年7月豪雨災害も重なり大きな影響を受けた観光地を中心に、(一社)岐阜県観光連盟が行う観光プロモーション活動を支援。

④ 資金繰り対策

- ・ **新型コロナウイルス感染症対策信用保証料補給金の増額**
(21,501 千円→410,501 千円)【9補 389,000 千円】
 融資資金の借りに必要な信用保証料の補給について、中小・小規模事業者の資金需要が増加していることを踏まえて増額。
- ・ **新型コロナ対応資金利子補給補助金交付申請事務費補助金**
【9補 18,000 千円】
 実質無利子無担保の新型コロナウイルス感染症対応資金について、金融機関における利子補給に係る事務に対する補助金を創設(全額国庫)。

⑤ 農業・林業対策

- ・ **外食インバウンド需要回復支援の増額**
(105,000 千円→184,301 千円)【9補 79,301 千円】
 外食産業のインバウンド需要回復に向けて、衛生管理の徹底や改善に必要な店舗改修などを支援。
- ・ **海外輸出向けの飛騨牛の加工経費の支援** **【9補 9,000 千円】**
 新型コロナウイルスの影響により停滞した飛騨牛の輸出回復を図るため、海外輸出を行う食肉販売事業者に対して、コロナ禍でニーズの高まる小ロット販売に必要な加工費(掛かり増し相当)を補助。
- ・ **海外拠点における県産農産物のPR** **【9補 20,000 千円】**
 新型コロナウイルスの影響により海外への渡航プロモーションができないことから、県と協力覚書を締結しているタイ、フランス、香港、オーストラリアの海外拠点(高級百貨店等)に対して、県産農畜水産物の各種プロモーションを委託。
- ・ **新規輸出の取組支援** **【9補 10,080 千円】**
 農業者や食品事業者を対象として、輸出先国のニーズに対応した商品開発や商談会出展などの販促活動に係る経費を支援。

- ・ **農福連携活動の普及啓発** 【9補 4,000 千円】
 コロナ禍における「農福連携活動」を支援するため、事例紹介動画や、啓発資料を作成・発信を実施。
- ・ **岐阜県産材のPR** 【9補 2,700 千円】
 岐阜県産の木材を使用した製品や施設等を紹介するパンフレットを作成し、木材関連団体等が商談会や展示会で使用したり、県外市町村に岐阜県産材の利用を提案することにより、県産材の需要拡大を図る。
- ・ **環境保全林整備事業費補助金の増額**
 (278,643 千円→500,351 千円) 【9補 221,708 千円】
 森林所有者による森林整備が困難な森林において、市町村や各種団体等が行う森林整備（間伐）を支援することで、森林の公益的機能の維持・向上及び林業関係者の雇用維持を図る。
- ・ **結婚式を中止・延期したカップルへの県産花きプレゼント事業**
 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、結婚式や披露宴を中止又は延期した岐阜県在住のカップルを応援するため、県産花きを使用したフラワーアレンジメントをプレゼントする。

⑥ 新たな日常への対応

- ・ **サテライトオフィス誘致推進補助金の増額**
 (216,000 千円→396,000 千円) 【9補 180,000 千円】
 県外法人向けのサテライトオフィス整備や開設、入居に伴う費用を支援する補助金について、ニーズを踏まえて増額。
- ・ **サテライトオフィス誘致マッチング支援事業** 【9補 3,850 千円】
 地方への進出を検討している企業とサテライトオフィス誘致を目指す自治体とのオンラインでのマッチングイベント（商談会）に出展し、市町村と連携し、誘致交渉を実施。
- ・ **デジタル変革推進事業費補助金の増額**
 (540,000 千円→663,555 千円) 【9補 123,555 千円】
 人工知能やロボット等を活用した県内中小企業の製造工程等の自動化に向けたシステムや設備の導入を支援する補助金について、申請状況を踏まえて増額。
- ・ **成長産業人材育成センター等通信環境整備事業** 【9補 25,000 千円】
 Web研修の需要が拡大していることを踏まえ、成長産業人材育成センター等に通信環境を整備。

- ・ **新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理料の増額**
(1,393,301 千円→2,015,353 千円)【9補 622,052 千円】
スポーツ施設、県営都市公園などの管理について、新型コロナウイルス感染症による掛かり増し経費を増額。

3 教育対策

児童生徒の学びを保障するため、「岐阜県 学校における新型コロナウイルス感染症対応〈学校再開ガイドライン〉」を基本に、児童生徒等の感染経路として家庭内感染が最多である今般の感染状況等を踏まえた学校運営を実施する。

① 円滑な学校運営

- ・ 常時換気、身体的距離の確保、マスク着用により3密を回避しつつ、飛沫・エアロゾル感染リスクの低減のため、それぞれの密を回避。
- ・ 手洗いの徹底（手指消毒）により、接触感染防止を徹底。
- ・ 通常の清掃活動により清潔な空間を保つことに加え、大勢が手を触れる場所（ドアノブ、スイッチ等）は定期的に消毒を実施。
- ・ 健康チェックカード【改訂版】による健康管理を確実に実施するなど、児童生徒の基本的な感染症対策を再度徹底。
- ・ 学校ごとに「衛生管理者（教頭等の管理職）」が、教職員の感染防止対策の実施状況を確認。
- ・ 本人のほか、同居家族に発熱等がある場合には、自宅で自身の体調を注意深く観察するなど慎重に対応。
- ・ PCR検査を受ける場合等は学校に対し速やかな報告を徹底。
- ・ 教職員は、感染拡大地域への不要不急の外出は中止する等慎重に行動することに加え、閉め切った場所での飲食など感染リスクの高い行動を回避。

② 学校行事（秋・冬）の感染予防

- ・ それぞれの行事の意義や必要性を確認しつつ、年間を見通して行事の実施を慎重に検討。
- ・ 学校行事は児童生徒同士の接触機会が多く、飛沫防止対策も困難である場合が多いため、感染症対策が十分にできないと判断した場合は、延期または中止。
- ・ 校外活動は日帰りを基本とし、移動時の手洗いやマスク着用など基本的な感染症対策及び訪問先の感染症対策を徹底。また移動時のバス利用についても3密回避を徹底。
- ・ 文化祭等の文化的行事における食品販売や会食を伴う活動は、飛沫防止が困難なため中止。
- ・ 体育祭（運動会）においては、学校の状況に応じて、来場者の制限や観覧スペースを限定するなど、児童生徒等との接触を避けるよう工夫。
- ・ 感染防止の徹底が困難であるため、県立学校における今年度の宿泊を伴う修学旅行は次年度へ延期し、近距離地域への行先変更や日程の短縮等について慎重に検討。

- **日帰り修学旅行の支援** 【9補 232,141 千円】
学校が修学旅行（日帰り）を実施する場合、県内の魅力ある地域資源（関ヶ原古戦場記念館、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、杉原千畝記念館など）に触れ、体験する場合、密を避けるため増車する借上バスの経費及び関係施設の利用料（入館料等）を支援。

③ 環境整備

- **特別支援学校における熱交換型換気扇の設置** 【9補 55,900 千円】
体温調整が難しい児童生徒が在籍する普通教室で、吸排機能を有する換気設備が整っていない教室において、効率的な換気を行うため、熱交換型換気扇を設置。
- **臨時的なスクールバス増車の延長** 【9補 363,276 千円】
送迎中の三密を解消するため、臨時的なスクールバスの増車の運行期間を年度末まで延長。